

やなむね

家棟川ビオトープ 魚の観察会を

開催しました～(^・^)♪

平成26年9月7日(日)9時から、野洲市野田地先の^{やなむね}家棟川ビオトープで魚の観察会を開催しました。

今年1回目の観察会で、晴天に恵まれ、けが人もなく無事観察会を終えることができました。観察会に参加いただいた家族連れや個人の方々49名とスタッフ26名の計75名で、船に乗って家棟川で魚を捕まえたり、ビオトープの池に入って魚や昆虫などを捕まえて観察したり、魚と野草の天ぷらの試食を行いました。



船に乗って家棟川へ



投網で魚の捕獲に挑戦

家棟川では、^{とあみ}投網とさし網で魚を捕まえる予定をしていましたが、事前に仕掛けていたさし網が前日の大雨で流され、^{とあみ}投網だけの魚捕りとなりました。結果は、外来魚のブラックバスしか捕れませんでした(´・ω・`)ザンネン。

ビオトープの池では、ギンフナやカマツカ、カワヨシノボリ、ウキゴリなどの魚が捕れました。また、水性昆虫では、タイコウチやマツモムシも捕れました(*^ワ^*)スッゴーイ。



ビオトープの池で魚捕り

講師の先生から、魚の特徴や見分け方、水生昆虫の不思議な生態などの説明を、みんな興味津々で聞いていました。その後、



捕獲した生き物を観察



野草と魚の天ぷらを試食

子どもたちは、実際に捕ってきた魚や昆虫を手に取り、触って観察しました。

最後に全員そろっての記念撮影をした後、ビオトープ内で採れた野草と漁師さんに提供いただいた魚(ワカサギ)の天ぷらをみんなで試食しました。くずの芽や花、ヨモギ、セイタカアワダチソウ、ツユクサなどの野草の天ぷらを食べると、「くずの花はおいしい。ヨモギは香りがあるがクセがある。セイタカアワダチソウは少し苦い。やっぱりワカサギが一番おいしい。」など、いろいろな感想が子どもたちから聞こえてきました。おにぎりを持参している参加者の方々もおられ、楽しい時間を過ごしていただきました。

参加してくれた子どもたちから、また参加したいという声もいただきました。**次は、11月9日(日)に秋の自然観察会を開催予定ですので、多数のご参加お待ちしております！！**



参加者全員で記念撮影

家棟川ビオトープ自然観察会

主催 NPO法人家棟川流域観光船、滋賀自然環境研究会、琵琶湖河川事務所
野洲市、南部土木事務所、滋賀県(流域政策局河川・港湾室)

協力 水資源機構(琵琶湖開発総合管理所)

事務局 滋賀県(流域政策局河川・港湾室)